

条幅部自由参考

2月25日正午必着

明石春浦先生書

嗟君不得意 況復柳條春
爲客黃金盡 還家白髮新
（王維）
五湖三畝宅 萬里一歸人
知爾不能薦 羞稱獻納臣

憐君不得意
五湖三畝宅

況復柳條春
萬里一歸人

爲客黃金盡
知爾不能薦

還家白髮新
羞稱獻納臣

（王維）

明石幸子書

あな寒とたださりげなく言ひさして
我を見さりし乱れ髪の君（与謝野鉄幹）
おお寒いと、たださりげなく言ったばかりで、わたしの
顔を見ようとはしなかった、その朝の乱れ髪のあなたよ。



桃花暮雨烟中閣。燕子春風月下樓（毛氏） 桃花の頃の春景。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

夜雪有佳趣（白居易）

夜雪佳趣有り

夜の雪景。

於_レ畫見書法_一 簫然無_二滯情_一
君看片石畔 叢竹忽然生（邵 寶）

畫に於いて書法を見る。簫然として滯情無し。
君看よ片石の畔。叢竹忽然として生ぜるを。

書法をもつて竹を畫き、畫法をもつて書をか
く、書畫はその理法を同じくするものである。

軍中醉飲寄_二沉八劉叟_一（暢 当）

軍中に醉飲して、沈八・劉叟に寄す 暢 当

酒渴愛_二江清_一 餘酣漱_二晚汀_一
軟莎敲坐穩 冷石醉眠醒
野膳隨_二行帳_一 華陰發_二從伶_一
數杯君不_レ見 都已遺_二沉冥_一

酒渴 江の清きを愛し 余酣 晚汀に漱ぐ
軟莎 敲坐穩かに 冷石 醉眠醒む
野膳 行帳に隨い 華陰 從伶を發す
數杯 君 見えず 都べて已に沈冥に遣る

高櫺のこずゑにありて 類白のさへづる春となりにけるかも（島木 赤彦）

半紙部規定課題A

2月25日正午必着

野
渡
花
争
殺

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(五体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。



草書



行書

2月25日正午必着



隸書



行草書

三浦士岳先生書

野渡春發

篆書

送王牧往吉州

謁史君叔

細草綠汀洲
王孫耐薄游
年華初冠帶
文彩舊弓裘
野渡花爭發
春塘水亂流
史君憐小阮
應念倚門愁

王牧が吉州に往いて史君叔に謁する
を送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に
王孫 耐く薄遊す
年華 初めて冠帯し
文彩 旧と弓裘
野渡 花争つて発き
春塘 水乱れつつ流る
史君 小阮を憐れむも
應に倚門の愁いを念うべし

細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかわかしさが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受
けつぐ

野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
太守は甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

朝日新聞社刊

「三体詩」下より

2月25日正午必着



雨宮春聲先生臨書

北魏張猛龍碑

の（景初）中、西中郎將・使持節・平西將軍・涼州刺史瓊の十世の孫なり。

清朝の中頃、阮元が南北書派論・北碑南帖論を著わしたり、包世臣が北碑の美を称揚してから北碑が次第に親しまれるようになった。更には、清末には康有為が出て一層北碑の価値を高め、その余波は我日本にまでも及んで今日に到っている。

この碑は宋代にすでに著録されているもので、古くから知られていたが、先の識者達に絶賛されてから北碑の代表的名品として、世人に注目されるようになった。

北魏の魯郡の太守をしていた張猛龍の徳行を頌するために建てられた碑で、碑額には楷書で「魏魯郡太守張府君清頌之碑」と十二字が三行に陰刻されている。碑文は楷書で二十六行、一行には四十六字刻されている。

結構はやや長方形に引きしまり、転折鋭く、書風は峻整で森嚴（身が引きしまるようにおごそかなさま）、用筆は健勁を極め、一種清高の気を帯びた作で六朝楷書の代表とされる。

この碑よりわずか三年前に建てられた「賈思伯碑」は、題額の様子から書風まで非常に似ており、同筆ではないかと思われ、研究すべき資料とされている。

（春廣）

西中郎將使持節平西
將軍涼州刺史瓌之

西中郎將・使持節・平西將軍・涼州刺史瓌の
臨

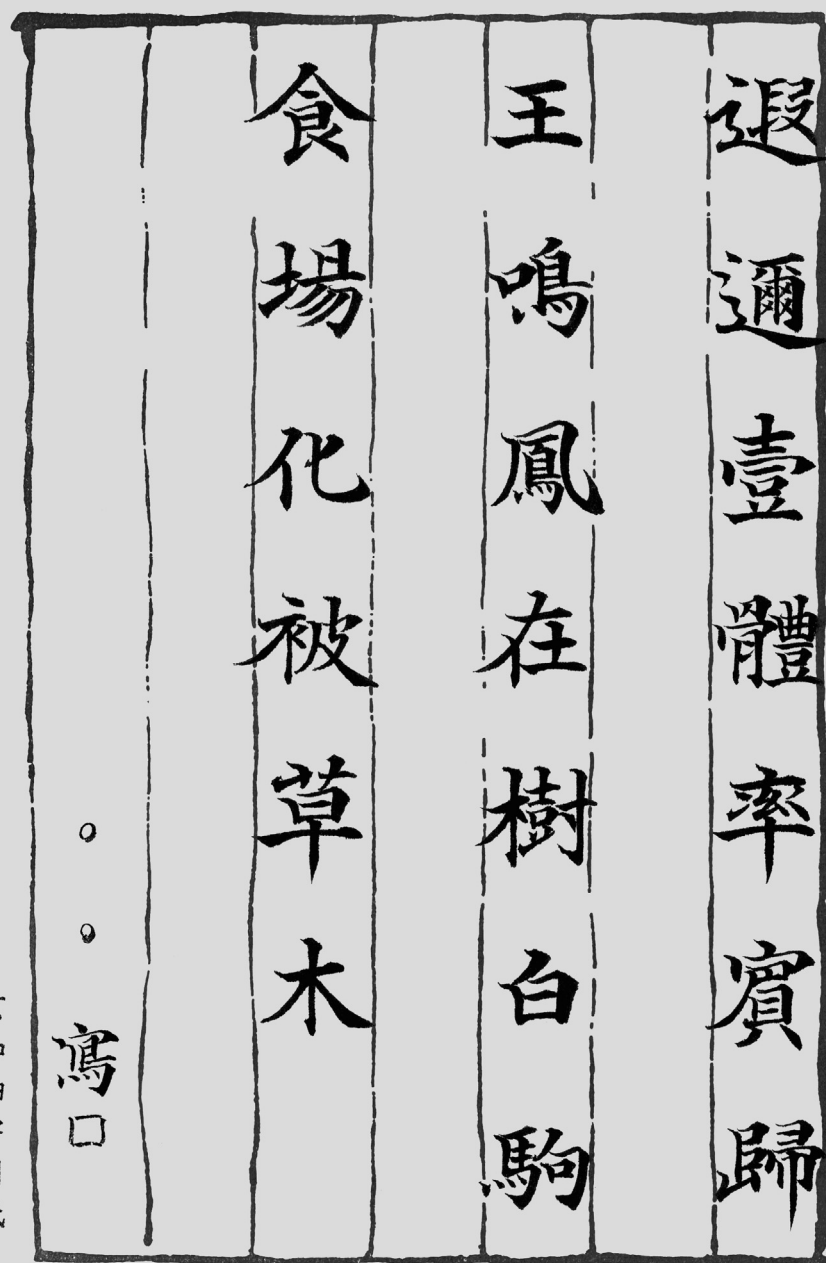
《倣書参考》

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

霜風盡脫千林葉雲
氣平沈一面山

霜風盡脫千林葉雲氣平沈一面山（陸游）

霜を帯びた風が木々の葉を尽く吹き散らした。
雲が彼方の山を平かに沈めている。



玄和細字用紙

※用紙サイズ：半紙 $\frac{1}{2}$ タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り ¥550—税込、送料別）

西 墨濤先生書

松永翠舟先生書

旅寝する草の枕に霜さえて
有明の月の影ぞまたる
（山家集）

多旅寝する草の枕に霜さえて有明の月の影ぞまたる、（山家集）

2月25日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

しょう
精

じん
進

中学一年



菅井松雲先生書

かん
閑

せい
静

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



ぜん
前

ご
後

小学五年

榎戸春龍先生書



も
模

けい
型

小学六年

横川春川先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着



藤田幸春先生書

こ

ゆき

小学三年



細谷春誠先生書

そう

ちょう

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

う め 小学一年・幼年



森戸春濤書

しょう 午 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

2月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

深い雪の線路を力強く進むラッセル車

小学五年

白い山なみが雄大に続く日本アルプスの景色

小学六年

白い氷と神秘のオーロラは南極の作り出す芸術

中学

冬枯れの街路樹に―
ずかに粉雪が舞う

一般(級位)

冬ごもり春さ^いり来らしあしひきの山にも野にも鶯鳴くも(作者未詳)
ひきつらにも野にも鶯鳴くも

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ふ	し
っ	ろ
て	い
き	ゆ
ま	き
し	が
た	

幼 年

に	ふ
つ	ゆ
つ	の
ま	山
れ	は
た	ゆ
	き

小学一年

が	つ
て	め
雪	た
と	い
な	雨
っ	は
た	や

小学二年

か	雪
こ	と
ま	こ
れ	お
た	り
世	に
界	

小学三年

氷	か
の	わ
上	い
で	い
楽	ぺ
しく	ん
遊	ギ
ぶ	ン
	が

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

明石幸子書